



しろやぎさんからの手紙

病児の保育しろやぎさんのポシエツ

2024年08月 NO.96

新型コロナウイルスの感染が全国で急拡大しています。また、マイコプラズマ感染症・RSウイルス感染症・アデノウイルス感染症も全国的に増加しています。

ご帰省やご旅行、お祭りや行楽など、人と接する機会が増加し、一方で猛暑によりマスクの着用が減少する時期です。大切な人に病気をうつさないためにも、ヒトから病気をうつさないことが大切です。

ご家族を守る為に、今できる対策を、今日から、あなたから……。

<<Make-A-Wish Japan>>

難病の子の夢を支援する「メイク・ア・ウィッシュオブジャパン」をご存知ですか？

医療法人社団どんぐり会は、「種子島でロケットの打ち上げがみたい!」というWishが難病のお子さんからあった場合に、Island Jamの種子島Lodgeの活用や現地でのサポート等、夢の実現



Make-A-Wish JAPAN

のお手伝いをさせて頂くお話を相談させていただいています。「メイク・ア・ウィッシュオブジャパン」の夢の力を伝え、活動を広めようと学校などで講演してこられた元事務局長の大野寿子さんが、ご自身のがんが進行したのを機に、著書を増刷して届ける「最期の大野プロジェクト」を進めておられます。那珂キッズクリニック小児科の待合室に、この大野寿子さんの著書「メイク・ア・ウィッシュ夢の実現が人生を変えた」をご用意しました。

ご希望の方に貸し出します。(お1人1回4日間 無料です) 夢はゴールじゃない。新たなスタートになる。私たちはこれからも引き続き、「メイク・ア・ウィッシュオブジャパン」の活動を支援していきます



<<新型コロナウイルス>>

○ 新型コロナウイルスは、一般的に、発症 2 日前から発症後 7 ~10 日間はウイルスを排出しているといわれています(症状軽快後もウイルスを排出しているといわれています)。

○ 発症後 3 日間はウイルス排出量が非常に多く、発症から 5 日間経過すると排出ウイルス量が減少します。

○ 新型コロナウイルス感染症に罹患した場合は、発症日を 0 日目として 5 日間は外出を控えます。5 日目に症状が続いている場合は、熱が下がり痰や喉の痛みなどの症状が改善して 24 時間経過するまでは外出を控えて stay home で様子を見ることが必要です。



○ 発症後 10 日間は不織布マスクを着用し、高齢者や妊産婦などハイリスク者との接触は控え、周囲への感染拡大防止に努めます。10 日間を過ぎても咳嗽やくしゃみなどの呼吸器症状が続く場合はマスク着用などの咳エチケットが求められます。那珂キッズクリニック小児科では、2 種類の院内 PCR 検査機器と外部検査センターでの検査を使用しています。

つくしちゃん! マスクは鼻までかくすんだよ

<ご自宅での新型コロナウイルス抗原検査キット

ご使用の際の注意点>

※陰性の場合でも、抗原定性検査の性質上、感染の可能性が否定されたわけではなく、偽陰性(過って陰性と判定されること)の可能性もある為、症状がある場合には医療機関の受診をお勧めします。

※タイミングが早すぎると、正しくない結果(偽陰性)が出る事があります。正確な検査結果を出すには、抗原検査は発熱 2 日目以降の使用を推奨します。もしくは 2~3 日間連日検査を実施して下さい。

*PCR 検査を希望される方は、職員の指示なくクリニックの建物に立ち入ってはいけません。

感染が疑われる方の PCR 検査はクリニックの建物とは別の場所でドライブスルー方式で検体採取を行ないます。お車でなく、徒歩や自転車・バイク・タクシー等でご来院されます方は、別途検査場所へご案内いたしますので、まずはお電話(TEL029-212-5630)でご相談ください。



<<マイコプラズマ感染症>>

マイコプラズマ感染症は、主に学童・生徒などの間に多いかぜのひとつです。10~30 歳代の方が症状が重くなる場合があります(乳幼児は症状が目立ちません)。

咳がひどく出ることが多いです。通常、鼻水は目立ちません。

感染力がとても強く、家庭内累積感染率 100%といわれています。潜伏期間は 1 週間から 1 か月程度です。



診断には PCR 検査を用います。

マクロライド系抗菌薬で治療しますが、PCR 検査で「マクロライド耐性遺伝子」が検出された場合は、第二選択薬として他のお薬で治療します。

(尚、PCR 検査が推奨される以前に使用されていた迅速抗原検査法(簡易検査)はその場で結果が判明しますが、偽陰性・疑陽性が多いため現在では使用が推奨されていません。)

<<アデノウイルス>>

■ 37~40℃の熱が上がったり下がったり 4~5 日続き、咽頭痛、結膜炎、胃腸炎症状などを引き起こします。感染者の涙、眼脂、鼻水、唾、汗、便や尿、吐物の中にウイルスが含まれています。治療薬はなく、対症療法が中心となります。

■ 感染力がとても強く、感染対策には手袋やマスクの着用、頻回の手洗いとアルコール手指消毒剤の使用が必要になります。

■ 感染者が発生した場合は、おもちゃや、子どもがたくさん触れるような場所(トイレのドアノブや、トイレの水道の蛇口など)は次亜塩素酸ナトリウムによる消毒、あるいは紫外線照射等を行って感染拡大を防ぐことが大切です。

■ 便や尿の中には 2~3 週間ウイルスが排泄されるので、オムツ交換の際にはディスポーザブル手袋を着用して、オムツやおしり拭きは密封して処分します。アデノウイルスにはアルコール消毒は効きにくい為、石けんと流水でこまめに手洗いをし、タオルの共用はしないようにしましょう。

<登園・登校はいつから?>

熱が下がり、全ての症状がなくなってから まる 2 日経過するまではお休みが必要です。症状回復後も 10 日間程は便中の残存ウイルスから家人同胞が感染する事例が多くみられますので、注意しましょう

※ しろやぎさんのポシエツや那珂キッズクリニック小児科では、室内環境やおもちゃについては次亜塩素酸ナトリウムでの消毒と Care222 を用いた紫外線照射の併用を、手指は手洗と pooky PRO care を用いた清潔で、施設内感染の防止に努めています。



<<煙にご注意>>

夏といえば、花火・バーベキュー・キャンプの焚火・蚊取り線香・お盆のお線香。呼吸器系が弱い子ども達にとってはこれらの煙は煙草の煙同様にリスクとなるので注意が必要です。

特に金属の炎色反応を利用して鮮やかな色を楽しむ花火の煙には硫黄や炭酸ストロンチウム、過塩素酸カリウム、鉛などが含まれており、これらの燃焼煙を吸い込むことで喘息発作が誘発されることがあります。また、お盆のご親族の集まりでオジサンが吸う煙草の副流煙で喘息発作が起こって来院されるお子さんもおられます。受動喫煙があると子どもの喘息の発症頻度が増加することが知られています。



<<おしりを拭いたら手を洗おう！>>

人の糞便中には 10~1000 億個の細菌が存在します。代表的な菌である大腸菌の大きさは最大でも 4 μm (1mm の 250 分の 1) なので、みなさんがトイレでお尻を拭くトイレットペーパーをスッと容易に通り返してしまいます。お尻を拭く時にトイレットペーパーを 36 枚重ねるとようやく手から大腸菌が検出されなくなるのだとか！

トイレで 1 回お尻を拭く度に 36 枚もトイレットペーパーを重ねて使っていたら不経済だけでなく、トイレ詰まりの原因になってしまうことも…



顕微鏡で見ることができる細菌と違って、ウイルスはさらに小さくて電子顕微鏡じゃないとみることができないミクロの世界です。ノロウイルスやサボウイルスなどに汚染された手で食材や調理器具を触り、食中毒を起こすと、腹痛や下痢、発熱などの症状が現れます。トイレの後は必ず 30 秒以上手を洗って、消毒 (ノロウイルスには手指消毒用アルコールは効きにくいので、しろやぎさんのポシェットでは Pooky PRO care を使用しています。) しましょう。

(注) 手足口病の原因ウイルスであるコクサッキーウイルスも、アルコール消毒は効きにくく、Pooky PRO care は有効です。手足口病では治ってからも 1~2 週間は唾液中に、2~4 週間程便中にウイルスが排泄されています

<< ARINKOMURA の夏祭り 種子島コーナー >>

浴衣や甚平を着たこども達が盆踊りやゲーム、屋台コーナーに大喜び。種子島コーナーでは、鹿児島黒毛和牛のにぎり寿司や、恒例となった芋焼酎コーナーも大盛況でした。

夏祭りの収益金はお帽子 (ヘルメット付きなんです!) の購入費用として活用させて頂きます。



<< 今月のつくしちゃん >>

つくしちゃんは毎日、アプリを使って自分で日記をつけています。3月6日にクリニックにきた日から一日も休まずに日記を書いています。「おはようをした」「スイスイかけまわった」「お気に入りの歌をうたった」などなど…。夏休みの宿題で日記を書いている小学生もたくさんいるかと思えます。夏休みが終わっても、つくしちゃんと同じように毎日日記を書いてみませんか。



<< 種子島は稲刈りが終わりました！ >>

関東と比べて、2 か月くらい季節が早く進む種子島。田植えは 3 月、稲刈りは 7 月後半!! 種子島はもう新米の季節です。

認可保育園 ARINKOMURA は種子島のお米を給食に使っています。7 月末に種子島から新米が届きました。

ARINKOMURA のごはんは 8 月から新米です。

炊き立てのごはんはふわっくらツツツヤして格別です。

今年から種子島のお米を玄米のまま保管するための保冷庫を準備しました。一定の温度で大切に保管中です。



<< 第 34 回 全国病児保育研究大会 in 金沢 >>

みつめなおそう、私たちの保育看護 ~病児保育で守りたいもの~

金沢の石川県立音楽堂で、7 月 14 日、15 日の 2 日間研究大会が開催されました。しろやぎさんのポシェットのスタッフも参加してきました。

今年は、上記テーマのもと全国から病児、病後児保育に携わる医師、看護師、病児保育専門士、保育士などが集まりました。全国の関係者の方々と交流を深め



ることができ、病児保育専門士はステップアップ目指して研修を受講してきました。絵本作家の先生ともお会いできて更に絵本との出会い大切さを感じました。大会期間中に、鼓門・もてなしドーム、近江町市場、日本三名園の兼六園、21 世紀美術館、などなど金沢ならではの場所や食べ物もそれぞれ堪能してきました。北陸新幹線ががやきにも乗って充実した研修大会になりました。スタッフ一同学んできた事を日々の保育や看護に取り入れ更なる向上を目指していきます。



感染症流行状況 (2024 07/01~07/31 検査陽性者のみ) 対象: 当院受診者

	市内		市外	
	未就学児	就学児以上	未就学児	就学児以上
溶連菌	13	15	3	2
手足口病・ヘルパンギーナ	57	2	21	1
アデノウイルス	4	1	0	4
RSウイルス	2	7	2	8
ヒトメタニューモウイルス	0	2	0	2
インフルエンザ A 型	0	0	0	1
ヒトライノウイルス エンテロウイルス	6	38		26
パラインフルエンザ	2	4		4
水痘	0	0	0	3
マイコプラズマ	1	3	1	3
COVID-19 (成人含)		64		17

しろやぎさんのお部屋から

梅雨が明けた途端、一気に本格的な夏が到来ですね。

今月の遊び紹介

病児の保育しろやぎさんのポシェットをご利用されたお友達と涼し気な風鈴を作りました。炭酸のペットボトルの上の部分を取り取ってシールを貼ったり油性ペンでお絵描きをしました。あとは紐で鈴をつけて完成です。風にあてるととてもいい音が聞こえてきます。思わず一緒に「夏だね～」と言い合っていました。



こちらはなんとしろやぎさんのポシェットが水族館に大変身!! 紙皿や紙コップを使って作りました。紙皿には色々な色の画用紙を貼り付けてマンボウの完成。紙コップはハサミで切り込みを入れてお顔を描き、たこの完成。マンボウとたこ、仲良くユラユラと泳いでいるみたいですね。



“おすすめ絵本”

だいすきぎゅっぎゅっ

ウサギの親子の一日を時間刻みで描いたお話。「時間」とふれあう最初のステップにおすすめの絵本です。ウサギの親子がぎゅっと抱きしめ合う姿に心が温まることでしょう。



おばけのアイスクリームやさん

おばけのぼんちゃんはもりでアイスクリームやさんをしています。どうぶつたちがアイスクリームやさんに次々やってきて、とても大喜び。擬音語とみんな大好きなアイスクリームの楽しい絵本です。



那珂キッズクリニック
小児科 HP



病児の保育
“しろやぎさんのポシェット”



こどもホスピス
ねむの木の下で…

問い合わせやご相談は

那珂キッズクリニック小児科病児の保育 しろやぎさんのポシェット
Tel : 029-212-5630